


PTA・地域住民・地域企業・学校が連携協働してふるさと学習の推進
～ふるさとの素敵な魅力を親子で体感する活動～

養治小学校PTA

PTA名称	養治小学校PTA	学校写真 
所在地	下関市本町2丁目6-1	
学校地域の概要・組織	<p>養治小学校は、明治6年に開校した歴史ある学校である。また、校区には、源氏と平家の戦いの場となった壇ノ浦や、日清戦争の講和条約締結の場となった歴史的建造物もあり、幾度となく歴史の表舞台となったことも、養治小学校の自慢となっている。これらの魅力を大人達が児童に伝えたいという強い願いがあり、養治小学校で「わくわくふるさと海峡学」が始まった。そこでは「本物を体感する」ことをめざして、様々な体験学習が計画されている。</p> <p>昨年度より、PTAの保護者が積極的にこれらの活動に参画して支援することになり、児童と共に歴史や文化を体験することによって地域の魅力に接したり、我が子との思い出作りも同時に行ったりしていくことになった。また、体験活動は校外での活動が主なので、道中の交通安全、活動の安全管理、救護なども保護者間が連携しながら実施していきたい。</p>	
研究テーマ	わくわくふるさと海峡学 ～海洋、歴史・文化、自然・郷土を探究する体験活動～	
成果と課題	<p>昨年度より「わくわくふるさと海峡学」として再構築したことで軌道に乗り、体験学習を通して「自分の言葉でふるさとの自慢を語る」ことをモットーに実働してきた。活動内容も充実して、地域住民や関係団体（海響館、下関市立大学、水産大学校、下関市栽培漁業センターなど）とさらに連携・協働しながら、継続できる活動になることができた。さらに今年度も保護者に体験活動への参加を呼びかけて、児童と共に歴史や文化を体験することによって地域の魅力に接したり、我が子との思い出作りも同時に実践したりすることができてとても好評であった。</p> <p>子どもは学校や家庭だけで育てるのではなく、地域が一体となって「地域の子どもは地域で育てる」ことをみんなで共有しながら、今後も「わくわくふるさと海峡学」を実働させていきたい。海洋教育、歴史・文化、自然・郷土教育が満載の魅力ある養治地区ならではの体験活動を、今後も積極的に実働させていきたい。そして山口県教育委員会がめざす「やまぐちPRIDE」の醸成を受けて「しものせきPRIDE」を展開することで、「自分の言葉ふるさとの自慢ができる」子どもの育成を、今後も保護者と地域、学校が連携・協働しながら進めていきたい。</p>	

活動内容

わくわくふるさと海峡学
～海洋、歴史・文化、自然・郷土を探究する体験活動～

1 ふるさとの魅力を語る「しものせきPRIDE」 海洋教育編

海峡、歴史・文化、自然に恵まれた養治小学校を取り巻く地域。これらの魅力を大人達が児童に伝えたいという強い願いがあり、これまでの体験活動を整理して、令和6年度より「わくわくふるさと海峡学」として体験学習が再スタートした。ここでは「本物を体感する」ことをめざして、様々な体験学習を企画・運営・計画されている。

めざす児童像は「自分の言葉でふるさとの自慢を語る」であり、常に明確なゴールとして認識できるようにしている。そのために、地域の魅力を直接体験する活動を実働させ、外部の支援者はその道の本物の方を招聘し「本物を知る 本物から学ぶ 本物を語る」を体感できるようにしている。

本校の学校経営の3つの柱は、「学力向上」「特別支援教育」「わくわくふるさと海峡学」である。「学力向上」では確かな学力の定着、「特別支援教育」では個に応じたきめ細やかな支援、「わくわくふるさと海峡学」では豊かな表現力・コミュニケーション力・情報発信力の向上をめざす。

わくわくふるさと海峡学 賞 × KURENKA

海洋・歴史・文化・自然・郷土を探究する体験活動

令和7年度海洋教育パイオニアスクールプログラム

令和7年度子どもが地域の先生プロジェクト・地域連携教育再加速フォーラム

豊かな表現力 コミュニケーション力 情報発信力

自分の言葉でふるさとの自慢を語る

本物を知る 本物から学ぶ そして本物を語る

2 地域連携カリキュラムの編成

昨年度までは「わくわくふるさと海峡学」を歴史・文化教育、海洋教育、自然・郷土教育の3つのカテゴリで進めてきたが、内容などが重なることも多く、ねらいも明確にならない場合もあったので、今年度は、文学と地域連携教育の2つを追加して5つのカテゴリとした。これまでの体験活動を振り返って、「わくわくふるさと海峡学」のそれぞれのカテゴリを再編成した。

令和7年度 わくわくふるさと海峡学 学校・地域連携カリキュラム

学年	ようじPRIDE					地域・保護者・大学等	実施
	1年	2年	3年	4年	5年		
4月	ふるさと海峽、学習計画の作成 社会・学活	東野早希君てよう	「ふるさと海峡学」学習計画の作成 総合的な学習の時間	4月17日 男尊厳 上野早希君 先生が講話 (下関市立)	4月24日 15年男1インクルーティブ運動会 新島学童	出陣授業 一緒に活動 安全確保	地域イベント等
5月	15年男15年男1インクルーティブ運動会	いもうさきじよう	5月15日 山崎 昭彦先生 先生が講話 (下関市立)	5月25日 参拝報告・先物館の見学 南野望吾	5月25日 パラサバインクルーティブ運動会 (自家製フルーツヨーグルト体験)	・先物館	
6月	5月25日 参拝報告の準備	参拝たんけんA	5月25日 参拝報告の準備	5月25日 参拝報告の準備	5月25日 参拝報告の準備	・5月25日 参拝報告の準備	
7月	参拝たんけんB	参拝たんけんB	参拝たんけんB	参拝たんけんB	参拝たんけんB	・参拝たんけんB	
8月	参拝たんけんC	参拝たんけんC	参拝たんけんC	参拝たんけんC	参拝たんけんC	・参拝たんけんC	
9月	参拝たんけんD	参拝たんけんD	参拝たんけんD	参拝たんけんD	参拝たんけんD	・参拝たんけんD	
10月	参拝たんけんE	参拝たんけんE	参拝たんけんE	参拝たんけんE	参拝たんけんE	・参拝たんけんE	
11月	参拝たんけんF	参拝たんけんF	参拝たんけんF	参拝たんけんF	参拝たんけんF	・参拝たんけんF	
12月	参拝たんけんG	参拝たんけんG	参拝たんけんG	参拝たんけんG	参拝たんけんG	・参拝たんけんG	
1月	参拝たんけんH	参拝たんけんH	参拝たんけんH	参拝たんけんH	参拝たんけんH	・参拝たんけんH	
2月	参拝たんけんI	参拝たんけんI	参拝たんけんI	参拝たんけんI	参拝たんけんI	・参拝たんけんI	
3月	参拝たんけんJ	参拝たんけんJ	参拝たんけんJ	参拝たんけんJ	参拝たんけんJ	・参拝たんけんJ	

3 体験活動の実践

「わくわくふるさと海峡学」の中から「海洋教育」について本校の特色を生かした実践した様子を紹介する。養治小学校の海洋教育は、3つの柱として海響館、釣り体験、博学連携がある。ここでは主な活動や外部への発表の様子を紹介する。

(1) 海響館との連携教育

下関自慢の水族館「海響館」と強くつながっていて、学校から海響館まで歩いてわずか20分、昨年度より学年ごとにテーマを決めて、体験学習を積み上げている。海響館では飼育スタッフやトレーナーから、実際に魚たちを見ながらたくさんのことを学んでいる。このような体験活動を通して、海響館のことをさらに身近に感じて、もっともっと好きになる成果が見られた。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1年・・・イルカの生態 | 4年・・・関門海峡の魚 |
| 2年・・・ペンギンの生態、獣医さんの話 | 5年・・・下関5大ブランドクジラの生態 |
| 3年・・・フグの生態、フグの飼育 | 6年・・・下関と水産業・まとめ（情報発信） |

(2) 「わくわくふるさと海峡学」オープンスクールの実施

これまで海響館で学んだことを保護者や地域の方に伝えるために、「オープンスクール」を開催して、各学年が海洋教育で学んだことを発表した。

①ねらい

- ・笹川平和財団の海洋教育パイオニアスクールプログラムの指定4年目となり、これまでの取組を発表して広く周知する。
- ・「わくわくふるさと海峡学」の海洋教育部門を振り返り、活動内容を検証しながら、持続可能な活動にしていく。
- ・体育館で体験したことや学んだことを多くの方（大人）に伝えることができるようにする。 ※県教委指定 「子どもが地域の先生プロジェクト」

②日 時 令和7年11月15日(土) 体育館

9:00~10:30 発表会 「わくわくふるさと海峡学」 ※体育館

11:00~11:45 出前講座 1~6年 ※各学年教室

③発 表 ※各学年15分

「子どもが地域の先生プロジェクト」

「わくわくふるさと海峡学 オープンスクール」

自慢

【令和7年11月15日(土)】

・発表会【体育館】各学年の発表（各学年15分）

気づき 考え 実行する「下関の魅力を楽しく伝えよう！」



1年
イルカの
大ぼうけん

2年
ペンギンに
会いに行こう

3年
フグって
おもしろい！

4年
ビバッ！
関門海峡

5年
下関
5大ブランド

6年
ふるさと
海峡学



④出前授業 11:00~11:45 ※各学年教室

1年生	「水族館のお話」	海響館飼育スタッフ	下村 菜月 様
2年生	「獣医さんの仕事」	海響館獣医	進藤 英朗 様
3年生	「海と下関とふく」	ふくレボ教室講師	松村 久 様 柳川 舞 様
4年生	「海岸の魚や貝」	栽培漁業センター技師東 幹也 様	亀井 孝祐 様
5年生	「下関とクジラ」	下関市立大学教授	岸本 充弘 様
6年生	「水産業の街下関」	地域の歴史家	林 吾郎 様



2年生 「獣医さんの仕事」 3年生 「海と下関とふく」

(3)「地域連携教育再加速フォーラム」のポスターセッション
令和8年1月24日(土)に「地域連携教育再加速フォーラム
～つむぎ、つなげる「やまぐち PRIDE」～」がYMfg 維新セ
ミナーパークで開催された。令和7年度の「子どもが地域の先
生プロジェクト」に指定され、今回の発表となった。

①「子どもが地域の先生プロジェクト」プロジェクトプラン
プロジェクト名 ふるさとの魅力を発信「わくわくふ
るさと海峡学」

②チャレンジポイント

「ようじPRIDE」 自分の言葉でふるさとの自慢を語ることができる。

- ・体験学習を通して、ふるさとの魅力を体感して、自分なりの表現の方法でふるさとの魅力を語ることができる。
- ・子どもとともに学ぶことで、地域の魅力を再認識し、地域のふるさと学習についての理解を深め、支援を積極的に行う。

③ポスターセッション

養治小学校のポスターセッションは午後の後半で、15分の発表+質問を2回連続で行った。2回とも100人を超えるたくさんの参加者があり、「わくわくふるさと海峡学」の発表を5年生5人、3年生1人、2年生1人が一生懸命発表して大好評であった。特に体験してわかったことをクイズにして発表した時に、答えにびっくりした参観者の驚きがすごかった。

4年生 「海岸の魚や貝」

「子どもが地域の先生プロジェクト」指定校(7校)

- 下関市立養治小学校
- 山口市立仁保小学校
- 光市立島田小学校
- 美祢市立美東中学校
- 上関町立上関中学校
- 田布施町立田布施中学校
- 阿武町立阿武中学校



4 評価と展望

6年生対象の令和7年度の「全国学力・学習状況調査」の「児童質問」で、地域に関わる質問項目（肯定的な回答の割合）では、

㊸これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか？

（本校）92.9%（山口県）81.3%（全国）80.6%

㊹地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んだりすることがありましたか？（習い事は除く）

（本校）57.2%（山口県）39.4%（全国）39.4%

㊺地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか？

（本校）100%（山口県）82.6%（全国）81.3%

以上のように高評価で、これまでの地域連携活動の成果であり、つながりが深まっている。

5 考察

前年度から「わくわくふるさと海峡学」として再構築し、体験学習を通して「自分の言葉でふるさとの自慢を語る」ことをめざして実働してきた。さらに充実させるために地域住民や関係団体とさらに連携・協働しながら、継続できる活動になるように努めてきた。

特に海洋教育に重点を置き、海響館との連携教育や日本釣振興会の環境教育や釣り教室、博学連携での出前授業（下関市立大学、水産大学校、下関市栽培漁業センター）が定着して、今後も学年に応じた海洋教育が実施される予定である。

また活動の様子を広域で紹介するために各種研究発表会等、「博多海の会議」（福岡市）、「地域連携教育再加速フォーラム」（維新セミナーパーク）、「海洋教育玄海子どもサミット（オンライン）」、「笹川平和財団 海洋教育研究会」（東京）、『全国「海の学び」フォーラム』（オンライン）で活動の様子を発表することができた。

子どもは学校や家庭だけで育てるのではなく、地域が一体となって「地域の子どもは地域で育てる」ことをみんなで共有しながら、今後も「わくわくふるさと海峡学」を実働させていきたい。

右のQRコードで活動の様子を紹介している。

「養治小日記」→

